

月 日 (曜日)

校長印

教頭印

責任者印

測定		使用前	1	2	3	4	5	6	放課後
時刻		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
天 候									
気 温									
水 温									
学 年 組		年 組	年 組	年 組	年 組	年 組	年 組	年 組	年 組
入 泳 人 数		人	人	人	人	人	人	人	人
P H									
残 留 塩 素 (mg/l)	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
塩素剤の使用方法									
確 認 事 項	排水口及び循環水の取入口の異常の有無 (無・有) 透明度 (良・不) 附属設備の異常の有無 (無・有) 浄化設備の異常の有無 (無・有) 消毒設備の異常の有無 (無・有)								
特 記 事 項									
記 入 者 印									

- (注) 1.水素イオン濃度はpH値5.8以上8.6以下であること。
 2.遊離残留塩素濃度はプールの対角線上3点以上を選び、表面及び中層の水について測定し、すべての点で0.4mg/l以上であること。また1.0mg/l以下であることが望ましい。
 3.透明度は水中で3m離れた位置からプール壁面が明確に見える程度であること。
 4.事故の発生など特記事項に記載すること。
 5.(重要) 万一事故が発生したときの対処方法を確認しておくこと。